



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第395号

教会 ↔ 信徒の絆深めよう

インターネット「ホームページ」再始動のための勉強会が始まりました。初回集まったのは広報委員のほか、パソコンに詳しい8人ほどが集まり現在のホームページを作成していただいている豊岡さんを講師に1時間ほどホームページの基礎を学びました。

コロナ禍が依然続いています。コロナの実態が少しずつ解明されたことから、以前ほど恐怖で語られることが少なくなっては来ていますが、秋から冬にかけては巨大な第3波も予測されており、今後の展望は全く予断を許しません。

この度の3ヶ月の教会閉鎖は、教会の情報発信について大いに反省させられました。個人情報漏洩防止が叫ばれていることから、ここ何年もの間、信徒の確かな名簿の作成が遅れているうえ、名簿の移動も不確かな状況です。

このことから教会閉鎖中3か月の間に2回の「からしだね」も確かな発送先限定しての発送となりました。

教会再開後、この反省に立ってホームページの再始動をはかることしました。現在、教会のホームページはあるものの、「からしだね」の毎号が月一回載るだけで、内容は固定化されています。そこで将来は週単位で内容を検討、未信者の方が見ても分かる内容を盛り込むべ

く、勉強会を続けていく方向です。

このホームページを柱に「LINE」や「Facebook」「メール」といったアプリの活用も検討していくつもりです。

早急には、信徒がどう情報をとれるかの確認が大切で、近く名簿の整理を行っていく方向です。



この人のことも見えている?・・・2面
活水2・仏教徒からカトリックへ・・・3面
ベトナム語ミサについて・・・4面
教会学校より・・・5面
幼稚園から・・・6面
委員会報告・・・7面
お知らせ・・・8面
今月の聖人・・・8面

この人のことも見えている？



主任司祭 フランシスコ・アシジ 谷口尚志



「この人のことも見えている？」

7月末に録画したあるアニメ映画を見てからというもの、何かにつけ、この言葉が脳裏に浮かびます。その映画は1年前に大惨事に見舞われた某アニメーション制作会社の作品だったので、被害に遭われたスタッフの皆さんの姿とも重なり、「聴覚障害」、「いじめ」、「傍観者」、「友達」などのテーマをもっと深めるようにと私の背中を押してきました。この作品を見返す度に「この人のことも見えている？」と問われ続けるでしょう。

聖書に親しむ会として毎週木曜日の午前中に行っている分かち合いのことですが、8月20日現在、ヨハネによる福音書20章を読み進めています。20章はイエス様の復活の場面を描いていますが、マグダラのマリアをはじめ、弟子たちが復活されたイエス様と出会う場面をとおり「見ないのに信じる人は幸いです」(29節)という言葉を私たちにも向けています。なぜなら、私たちは2000年前には生まれていなかったのにイエス様が復活されたことを信じているからです。どうして信じられるのか。一つの理由は、私たちではなく、実際にイエス様に出会った人たちが伝えているからです。その人たちがどんな境遇にあったとしても、復活されたイエス様との出会いによって与えられた救いのメッセージを伝えないではいられなかったのです。しかし、それだけではなく実はもう一つの大きな理由があります。私たちがイエス様の復活の証人であるその人たちの姿と重ねているからです。わたしたちの信仰は個人的なものではありません。それは、すべての人のために人となられたイエス様と出会った人々のことを見て、その姿と重なることによって実感できるようになります。

「この人のことも見えている？」

この問いかけは福音をすべての人に伝える使命を持つわたしたちにとって欠かせない問いです。それぞれの環境で生活する人の姿と自分を重ねようとする時に生じるものだからです。多くの苦しみ、痛み、試練、不安、そして罪。それらを抱える人の姿を見つめましょう。そして自分の姿を重ね、無関心や無関係ではいられないことを信仰によって自覚できますように。

活水₂

仏教徒からカトリック信徒へ 海老津地区 山口 美代子

私の出身地は京都府下の八木町と言うところです。現在は市政に変わり南丹市となっています。京都市からは JR で北西方向に1時間ほど行ったところで、現在住まいしている岡垣町と似た環境で育ちました。両親共に仏教徒として育った私とカトリックの出会いは小学校の友人からでした。

それが誰であったのかは覚えていませんが友人の誘いで、園部に有った教会で開かれたバザーに参加したのが始まりでした。仏教しか知らなかった私にとってキリスト教の雰囲気は全くの異質で、かえてそれが興味と成り、暫くは時々教会に遊びに通いました。バザーの折には、お土産に持ち帰ったマリア様の絵が入ったペン立てを見た父から「家は代々の仏教徒。そんなものは捨てなさい」と言われたことを覚えています。

そんな環境からか、一年ほどで教会通いも途絶えてしまいましたが、次の機会があったのが、主人との出会いでした。主人は当時何かの事情で、教会から離れていましたので、付き合いだしてから暫くは主人がカトリックの信徒であることは知りませんでした。丁度職場の人に信徒さんがおられ、なんとなく主人がカトリック信者であることを察知、私とともに自宅に招いて下さいました。御復活祭、御降誕祭など折に触れ、京都市の三条教会にも行くよう勧められましたが、主人は積極的には教会に近づくとはしませんでした。やがて結婚。長男ができて1年ほどした頃主人の配置転換で現在の住まいに落ち着きました。2年ほどは教会とのご縁は切れたままでしたが、本当に急に教会へ行こうと言い出しました。娘の妊娠が分かった頃で、主人によれば、「カトリック以外に家庭内の教育は考えられない」。

当時の主任司祭がラバルタ神父様です。早速、「勉強に來い」ということに成り、週一回主人とともに勉強会が始まりました。私は、結婚当初からカトリックへの改宗には何ら抵抗は有りませんでしたので、勉強会に通うのも抵抗は感じませんでした。戸惑ったのがラバルタ神父様の強引さ。主人の仕事の都合上、子供の発熱、体調の不備などどうしても休まざるを得ないことがあって、電話をすると、「何とか手段を講じて出てこられないか」と誘われます。「出てきなさい」「行けません」の押し問答。こうしたことが何回か繰り返され、やがて長女の出産。産後1か月ほどしてから、勉強会へのお誘い。産後間もないため、子供をどうしようということでもたひと騒動。結果落ち着いたのは、当時同居していた主人の両親に長男は預け、長女は私たちが伴っていくことに。勉強の途中むずがって泣き出すことやおむつ替えなどで、勉強に集中できないこともありましたが、ラバルタ神父様は終始ニコニコと子供の世話をする私を見守って下さいました。

勉強し始めたころは、嫌で嫌でたまらなかったラバルタ神父様の強引さも、2年半に及び洗礼、堅信の勉強会の間に慣れてしまい、今では、あんなにも熱心な指導をして下さったラバルタ神父様には感謝の気持ちで一杯です。洗礼から35年近くがたちました。一応、カトリック信徒としての信仰は、自分なりに確立してきたつもりですが、今だに分からないところも多く、信徒半人前といったところでしょうか。

ベトナム語ミサについて

岩本光弘

大分教区では、宮崎の日南教会にいたファム神父が春の人事異動で、ベトナム人司牧担当として大分司教館に移動しました。ファム神父は6月からベトナム語ミサのために九州各地を回っています。これまで熊本・諫早・豊後高田・福岡・日田と毎週出かけています。私にも連絡がありますので出来る限り一緒に行動してベトナム人青年たちと交流をしています。

九州にはベトナム人司牧をしている司祭は限られています。そのためファム神父の移動がハードになっています。日本にいるベトナム人たちはミサにあずかることを求めています。その人たちの要望に応えるためにはこのような状態になるのです。このミサに参加すると、この人たちがミサを待ちかねていたことが良くわかります。

ベトナムでは主日のミサを1回欠席すると、許しの秘跡を受けないと聖体拝領はできないと言われているそうです。ファム神父は帰国した時「日本ではそのようにはできないので心配しないで聖体拝領していいと言っている」と話したところひどく怒られたそうです。

今までいろいろな外国語ミサに参加してきましたが、ベトナム語のミサには驚かされます。参列者の態度を見ると、母国でも毎週教会に行っていたことが分かります。

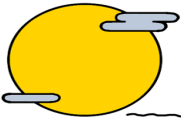
ミサに遅刻して来る者はほとんどいません。早い人は1時間以上前から来ています。許しの秘跡のためでもあるのですが、ほとんどが最低30分前には来ています。参加するために片道2時間くらいかけている青年はたくさんいます。

ミサの前と後には許しの秘跡で神父は大忙しです。毎回20人から30人が告解をします。下関の細江教会で聞いた話ですが、クリスマスのミサの時にほとんどの人が聖体拝領をしなかったそうです。神父が気付いて「ミサの後に告解したらいいから聖体拝領をするように」と言ったそうです。ミサが終わった後、神父は1時間以上告解室から出てくるのができなかったと笑っていました。神父が出てくるのを待ってクリスマスパーティーをしたそうです。

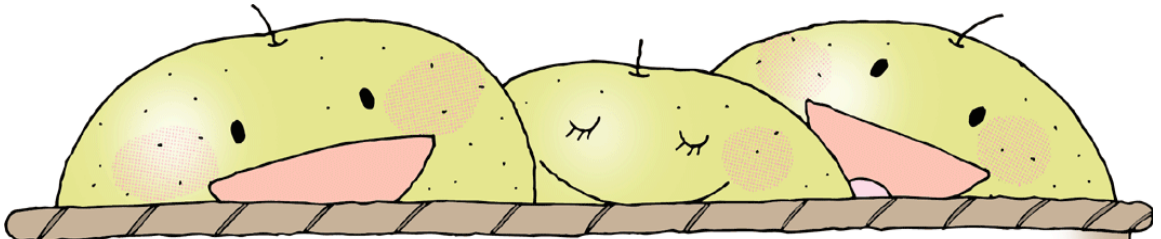
どの地区にもミサの準備をするリーダーの青年たちが沢山います。オルガンや聖歌の歌唱指導を担当するのはほとんどが男性の青年で、彼らには神学校出身者が多いそうです。

ベトナム語ミサは若い青年がほとんどなので聖歌の声が大きく、聖堂内が割れんばかりの歌声になります。また祈りの声も大きいので初めて参加した日本人は大抵びっくりして感動します。皆さんも機会があれば一回参加しませんか。若い歌声に必ず感動しますよ。

近年はベトナムからの来日が急激に増えていますが、その中のカトリック信者も増えていきます。ファム神父から聞いた話ですが「ベトナムは共産党の国なので、就職の書類の宗教欄にキリスト教と書くと不採用になるケースが多いので、その人たちが実習生に応募していて来日者の60%がカトリックだ」というのです。私はそれほど多いとは思いませんが、人口の10%弱がカトリック信者なのに、技能実習生にカトリック信者が多いことには気が付いていました。信徒数が少ない佐賀県の教会に行くと半分が外国人信徒です。長崎教会管区(九州)内のベトナム語ミサの回数は信徒数からすると少ない状況です。北九州地区でも長い間ありません。私は早く始めて欲しいと管区担当司祭にお願いをしていますが、難しいようです。



教会学校のページ



8月9日第二日曜日、この日の教会学校は午後7時より、初聖体クラスの勉強の後、子ども達と保護者の皆さん一緒に、花火をして楽しみました。

今年は、コロナ禍の影響で短い夏休みということで、ご家庭でもイベントやお出かけの計画が難しかったと思います。そんな中、色々な我慢の中頑張っている子ども達に、ちょっとでも笑顔になってもらえたらと思い神父様を中心に企画しました。

花火の後の、アイスクリームに葡萄も最高でしたね！6人の小学生に、中学生になった蓮君も加わり、また3名の青年も準備、応援にきてくれて賑やかな夕暮れとなりました。

久々の教会イベントに、ある種の懐かしさも感じました。早く本来の、人との交わりに温かみを感じる教会の形に戻ることが出来ますように。来年は例年通りのファミリーキャンプが行われますように。そうだ、その分楽しみも、倍返しだ！！あらっこの言い回し、つつい影響されております(≥▽≤)

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 9月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

幼稚園では、夏休みに入りました。

毎日お預かり保育を利用している子ども達が元気に過ごしています。

例年6月中頃からプール開きがありますが、今年は新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。水に触れる機会が少なかった子ども達ですが、園庭で様子を見てみると、砂場で橋を作って水の通り道を作っている姿がありました。

傍らでは年少児も輝いた表情で見えており、お兄さんたちの夢中になる姿をみて、遊び方も学んでいくのだろうと感じられる姿でした。



<マリア子どもの家>

例年にない長い梅雨が明けると、朝からあちこちで、ジージーと蝉時雨。9時近くになると、もう熱中症マークと相談しながら冷房を付けないと、暑くて過ごせない日々が続いています。

新型コロナウイルス感染予防のため、2グループに分けて、毎日水遊びです。水をすくって小さな水車を回したり、如雨露に水をくんで朝顔やゴーヤ、トマトに水をやったりなど。

「ウワー冷たい!!」噴水の水で遊ぶのが大好きです。



TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

委員会等報告

2020年8月分

8月度小教区委員会 8月2日

1. 行事予定

- ・9月 6日(日) 小教区委員会
- ・9月 13日(日) 敬老のお祝い会 (中止)

2. 議題

(1) 各委員会報告

①納骨堂委員会

15、16日の納骨堂対応

AM9:00-13:00 ミサの時間は閉める予定

②営繕委員会

- ・スロープ修理

お盆明けから開始。8月までに終了予定。土日工事は実施しない。

- ・聖堂ライト

本体取替の必要がある(もう、交換部品がない)→見積実施

- ・天井ファン

故障停止しているものを交換も検討する→見積実施

- ・女子トイレ

個室内に灯り増設→見積実施

(2) ホームページの管理について

①ホームページ：宣教用途として活用

・これまでは未信者の方の好意により個人サイト経由で更新してきた。

・現在はからしだねをアップするサイトになっている。

・水巻教会管理下のホームページを立ち上げることにする。広報委員会がホームページを管理することとする。

・ミサ時間、マップ、聖書勉強会の案内など情報発信ツールとして活用する。

・そのために、ホームページ作成用のソフトを購入する。また、立ち上げに向けて指導いただくこととし、謝礼を1万円/月支払う。立ち上げ時期は別途相談の上、決定する。

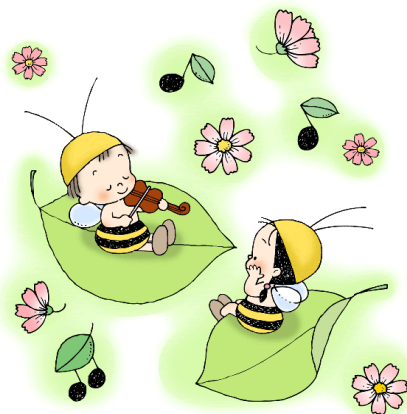
②メール：連絡網として活用

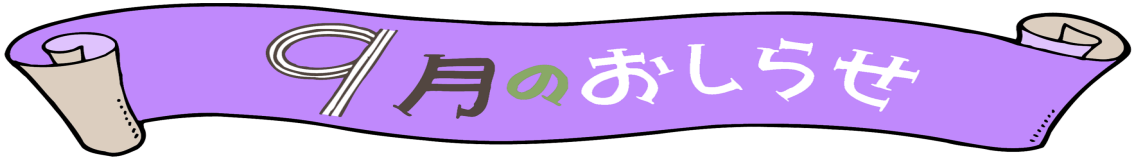
手順を決めて、連絡手段として活用を検討する。働いている人などメールの方がいいという人もいる。

・地区役員にてメール希望、電話希望の別をヒアリングする。

(3) 北九州信徒協の活動について

今年度の行事(レクリエーション大会、加賀山隼人殉教記念ミサ)は中止となった。





★今年の行事について★

今年は、例年行われていた行事が、コロナウイルス感染対策で中止になっています。これからの予定の行事で中止になったものは以下の通りです。

- 敬者のお祝い会
- 北九州信徒教レクリエーション大会
- 加賀山隼人殉教記念ミサ

今後中止・延期になる行事がいろいろと出てくると思います。からしだねや週報を見て、ご確認ください。

人 - ひ と

【帰天】安らかに！

◇7月19日

松永 綾子様

海老津地区

◇8月16日

佐舗 健太郎様

赤間地区

【転入】ようこそ！水巻へ

◇切江 利明様

◇切江 京子様

◇竹尾 スミエ様

戸畑教会より海老津地区へ



今月の聖人 10日 日本 205 福者殉教者

日本 205 福者殉教は、江戸時代初期の 205 人の殉教者たちです。1867 年に教皇ピオ 9 世によって福者にあげられました。

長崎での殉教者 151 人、大村 28 人、有馬 9 人、小倉 5 人、島原 4 人、江戸 3 人、その他 雲仙、田平、壱岐、京都、仙台各 1 人の 205 人です。

国籍は、日本が 153 人、スペイン 24 人、ポルトガル 5 人、イタリア 5 人、メキシコ 3 人、オランダ、ベルギーが各 1 人、豊臣秀吉の朝鮮侵攻で朝鮮半島の出身者が 13 人で、司祭 13 名、修道者 20 名でした。

また、女性が 14 人、少なくとも 6 人は子どもでした。

1968 (昭和 43) 年、列福式から 100 周年記念にあたり、「斬罪小屋」の立て札があった大村の殉教地、放虎原の処刑場跡に、大村の信徒たちによって顕彰碑が建立されました。